

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立

小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和7年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。
本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されないことがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
本市	16.16	19.89	34.46	41.16	50.80	9.47	152.45	22.02	54.09

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97
本市	15.73	18.70	38.63	39.23	39.35	9.75	144.11	13.51	54.98

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査の結果分析
運動やスポーツに興味関心が高い児童が、全国平均よりも高く、運動やスポーツへ好意的な態度をもち、運動能力、体力合計点の高さにつながっている。記録に挑戦したり競い合ったりする取組や、できなかったことができるようになった達成経験が得られる授業により、ほとんどの児童が体育の授業が楽しいと感じていると考える。ただ、地域のスポーツクラブへ所属している児童の割合が7割近くを占め、学校の取組の成果であるかを検証しつづらため、今後も継続して取組が必要であると考える。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

・マット運動、跳び箱運動等、準備に時間がかかる単元では、学年で時間割を調整して、準備を効率よく進められるようにする。準備の時間を減らして、体を動かす活動時間を十分確保できるようにする。
・職員ICT研修でタイムシフトカメラの活用を周知し、個人の力を高めるための効果的な使い方を確認する。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

・全校毎週木曜日の朝自習を「松北スポーツタイム」とし、全校鬼ごっこや短縄(縄跳び検定)、持久走に取り組み、楽しみながら体力向上、運動能力を高めるようにする。
・スポーツ科学情報センターによる分析を活用し、自己の課題を客観的、専門的に把握できるようにする。
さらに、家庭での生活や運動習慣に関しても啓発する。